

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門 審査結果及び講評

部門	順	校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
ラジオドキュメント	1	堺西	その放送、大丈夫ですか？	1位	・ナレーションはゆっくり。間をとって。 ・題材が面白い！！ ・声の録り方が面白い（町の人など） ・後半の展開が惜しい。制作者のスタンスがもっと明確に出てよかった。	日常の学校生活で良くあることに焦点を当てたのはとても良い。ナレーションが少し速い。まともが校長先生以外にも欲しかった。／校内放送は音声放送なので、ラジオドキュメントとしてよい題材。生徒の声、近隣住民の声がよい。音声レベルが高いところがある。／生徒目線で着眼点が面白い。ナレーションが少し早口。生徒が思うほどに周りの大人は気にしていないという気づきがよい。先生側の声、先輩から聞いた様子など、様々な立場の人の声が聞けており、深みがあった。ラジオならではの番組。／オープニングがキャッチで面白い。学校あるある。近隣の方へのインタビューがよい。他校への取材もよい。個人情報を取り巻く問題にも触れており、考えさせられる内容であった。BGMの使い方もよい。／先生の放送は本物が再現か？着眼点が良い。高校周辺にはおおらかな人しかいないだろうか？もっとデータを集めて欲しい。大学と様子が違うのも、聴覚支援学校と違うのも当然では。もっと先生方に物申す番組にして欲しい。テレビでも良かったかも。
	2	四天	合掌、瞑想	4位	・ナレーションはもっと大きく。 ・「How to 瞑想」になっているのがもったいない。 ・瞑想を高校生独自の視点（将来の悩み、とか）で展開すればもっとよくなる。 ・10%の人間を主役にしてもよかったのでは。	瞑想をいつ、どのくらいしているかの説明がないのは唐突な感じがする。説明が欲しかった。／専門家との対応をわかりやすくする工夫が必要。テレビ向けのテーマでは？／宗教系の学校ならではの話題。音声でも表現できる話題であることに気づかされた。音が綺麗に処理されている。生徒に取り組んでもらう場面の切り替わりがわかりにくい。もう少し取材がほしい。瞑想を行う意味、なぜ学校で行うのか、など。／瞑想の意味を追求している。／学校の特性を活かした良い着眼点。電話インタビューにBGMは必要か？テレビでも良かったかも（瞑想している画が見たい）。実験したのは良いが、もっと継続的なら尚良かった。内容に重複が多い。
	3	旭	あさひが昇る	入選	・セルフドキュメンタリーっぽい。 ・台本がしっかりしすぎている（ドキュメント感がない） ・前半の立て付けはもう少しコンパクトに。 ・インタビューの声を聞き取りやすく、収録や編集に工夫がほしい。 ・「なぜ朝がづらい」が独自の視点でいけたのでは。	ナレーションがドラマっぽい。ずっと語る方が、ドキュメントとしては良い。寝起きが悪いのはアラームだけに理由がある？最後のまともに至るところを丁寧に表現して欲しい。／「音で目覚める」をテーマに展開しており、アラームの良さがよくわかった。最後の「アサヒ」も良い感じ。／音に注目しており、ラジオ向きの題材。取材時、もう少し雑音が入らないよう配慮できたら良かった。母親の声音が割れている。プレゼントにもらった～のくだりは広告宣伝にならないか？／アラームの話か、目覚ましの話か。番組で伝えたいことはどちらか。最後のまともはアラームとどう関係するのか。／「アラームに対する苦情がある」ことをナレーション処理されると、引っかかる。テレビの方が良かった？内容の重複が目立つ。ドラマっぽさは必要だろうか。ナレーションの文言について、内容とかみ合わない感がある。
	4	桃山	私たちから	3位	・題材が面白い。 ・模擬原爆の写真・形跡がないのが惜しい。できればテレビの方が良かったかも。 ・主人公のおばあちゃんがよい。 ・実は、身近な戦争の話。	学校のある地域のことに焦点を当てたのは面白かった。当時の体験談を聞くことは難しいだろうが、模擬原爆のことは調べれば出てくると思うので、どんな爆弾かの説明があった方が良かった。／田辺の模擬原爆についてはあまり知られていない。語り継ぐことが大切。今の時代、大切なテーマ。静かな語りが良い。／音声レベルが少し低め？取材対象の声がご高齢で聞き取りにくいところもあった。姿を実際にテレビで見てみたかった。地域の話題を紹介できており、新たな気づきがあった。／なぜこの内容を取り上げようと思ったのか。きっかけを、導入として説明して欲しい。インタビューを含め、素材の並べ方を工夫すると良い。「言葉が大きな力となる」というところに話の飛躍を感じた。／ナレーションの音が小さい。重い内容でも、ナレーションがその雰囲気である必要はない。模擬原爆について具体的な情報（普通の爆弾との違い）が欲しい。戦争を語り継ぐ上での扱い方の差が出せたら良かった。写真などを交え、テレビの方が良かったのでは。
	5	相愛	ペーパーレス大作戦	2位	・体制側であるはずの先生のこだわりや戸惑いが面白い。 ・教育現場の矛盾をよく描いている。 ・エンタメも意識して作っているのがよくわかる。	学校の紙について取材しているのは面白い。紙派とデジタル派のどちらの意見も聞いている。削減できた理由を知りたかった。／テレビ番組で見たと思った。身近な話題で、良いテーマ。／具体的な数値を元に話を進めていることが好印象。ペーパーレス大作戦が始まったことを生徒がどのようにして知ったのかに気がなったが、その後は疑問を元に関係各所に取材を敢行しており、筋がわかりやすい。目標と達成時の枚数が違っていた？／先生の声で始まるのではなく、それによる自分たちへの影響（授業のデジタル化）を入口にする方がよいのでは。デジタルと紙との比較、学習に関わる違い、問題点について考えたいのか？タイトルとは趣旨が異なってくる気がするが…／冒頭の放送の再現？が紛らわしい。「プリントは減らとうしない」日本語が不自然。授業プリントの量を放送部で調査してみたら面白かった。なぜ目標が達成できたのかかわからなかった。テレビ向き番組では。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門 審査結果及び講評

部門	順	校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
TV ドキュメント	1	相愛	この子の何がダメなんですか	1位	・長い期間にわたり、題材にしっかり向き合っている。奥村さん親子から信頼されているのがわかった。 ・ナレーションをなるべく少なくして、人物の声を大事にしているのが良かった。 ・全体構成も良く出来ている。 ・タイトルがもっとポジティブな方が良かった。	真のノーマライゼーションを考えさせられる番組だった。合理的配慮とは何か、どこまで学校ができるかを知った。奥村さんのこの後が気になる。／テーマが少しはっきりしなかったなと思った。本人にもっとスポットを当てても良い。／しっかりと取材しているのに感心する。ドキュメントとして素晴らしい。主人公自身の言葉がもっと欲しかった。あるいは、自分たちの問題としての視点の広がり欲しかった。／取材の妙。とても丁寧に、関係する人物への取材が行われている。卒業式、前後も含めて貴重なシーンを取材できている。企画力が素晴らしい。映像の持つ力を思い知らされる。／障がいがある人への社会のあり方について、現実を映像で伝えている。大変な現実を、自然な生徒達の関わりを通して見せてくれている。とても感動した。
	2	池田	万博からつなげる音楽の輪	3位	・編集技術がバツグンに上手い。センスがある。 ・ずっと飽きないで見ることはできたものの、欲を言えばバンド内のドラマがもう少し見えたかった。 ・是非本番も密着して、続きを見せて欲しい。	大中さんのインタビューの音質が気になる。高校生バンドの様子がよくわかる作品だった。／しっかりと取材している分、とてもしっかりした内容だった。インタビュー音声の処理は苦労したのでは。／練習風景だけでなく、実力派バンドということなので「実力」をもっと見せて欲しい。テーマが良い。音が少し割れている。ナレーションと編集が上手。同じ映像の使い回しが目立つ。「耳の聞こえない人」はここでは関係ないのでは。／タイトル画、上手に作っている。BGM, テロップ, 映像、いずれも綺麗に作られている。ナレーションの音のレベルが大きすぎる？上手くまとめている。／BGM, 音の使い方が上手い。取材もしっかりできている。本番が楽しみになる。
	3	桃山	いのちの響き	2位	・AEDの普及率の低さには、ハッとさせられた。 ・当時の方に話を聞くのには、覚悟が必要だったと思う。それを強く感じた。 ・命の大切さという、考えづらいテーマに真剣に向き合っていた。	「人の命は大切なもの」ということを立ち止まって考える作品。丁寧な取材編集ができていると思います。／よく取材している作品でした。自校の過去の経験をピックアップしたのはすごい。／自校ならではの素材で良い。取材も頑張っているが、もう少し選抜して使いたい。画面が単調になってしまったので、ラジオドキュメント向きに思う。今の高校生に感想を聞いて欲しい。／高校生に、そして社会に訴える内容の多い社会派作品。丁寧な取材で、その人にしか喋れない言葉を多く捉えている力作。／事故を通して学校や関係者がどんな活動をしているかがよく伝わってきた。AEDについて、生徒の声を聞いてもよかったのでは。
	4	阪南大	ロッカーに隠された学校のホンネ	4位	・なぜロッカーが小さくなったか、という1テーマで良くここまで組み立てた。視点が面白い。 ・個人的には、小さなロッカーへの怒りは、疑問を最後まで貫いて欲しかった。	高校生ならばロッカーの問題は身近で、大きな事柄です。ロッカーの会社の方の音声が気になります。学校の備品に関して考える機会になりました。もっと面白くできればいいと思います。／学校にあるロッカーについて取り上げたのは面白かったです。音声の処理が少し厳しいところがありました。／着眼点が面白い。取材もしているが、サイズの比較はもっと早く出して欲しい。なぜ小さくなったのかももっと早く出して欲しい。安全性とか耐久性とかいわれても、大きさとは視点が違うので話がかみ合わないように感じる。テレビ向きの題材でよい。／ナレーション主体で進んでいくのも悪くはないが、その人にしか話せない言葉を紡いで欲しい。／なぜ変わったのか？という理由を追っていく構成が良かった。とても身近で自分たちに関係する話題を選んでいてよい。
	5	プール	ここから進む	入選	・多様性のある保育園というテーマは良かったが、その紹介だけになっているのがもったいない。 ・取材交渉の難しさはわかっているが、特に前半は、内部の映像を見せて欲しかった。後半の園内のシーンは、とても興味深く見せてもらった。	多国籍な保育園の様子がよくわかりました。映像の色合いが少し気になります。／保育園のことを伝えたいのか、将来のことを伝えたいのか。何がテーマか、もう少しはっきりさせると良い番組になると思います。／その保育園の特徴や取り組みがテーマなのか、そこで体験をした卒業生の話がテーマなのか、途中でわからなくなった。「私たち」とは誰のことか？／テーマがわかりにく感じた。卒業生主体か、多国籍の保育園の紹介か。幼児の取材には許諾が難しいところ、果敢に挑戦していて素晴らしい。／保育園の紹介を通して何を伝えたいのか。番組を通して伝えたいメッセージが何かをはっきりさせるとよい。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門 審査結果及び講評

部門	順	校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
ラジオドラマ	1	箕面自	心のこもったありがとう	入選	・一郎君が「もう一度泳ぐ」と決断した背景をもっと深く描ければ良かった。 ・重い芝居にもかかわらず、役者陣の迫真の演技が良かった。	最後が読めてしまう。何かもう一つ仕掛けをすともっと良くなる。最後、ありがとうとなるのが唐突。音が丁寧に録れている。／高校生のクラブ・チーム・責任と葛藤をよく表現できている。ドラマの王道といったストーリー。安心して聞ける作品だった。／冒頭の泳いでいる効果音にリアリティが欲しい。顔を洗っている音に聞こえる。「泳がせてくれ…」の前、もう少し溜めがあるのでは？「しよっぱいのは感謝の味」がよくわからなかった。ストーリーはすっと入ってきた。高校生らしい作品。／この女の子は誰？メンバーはイチロー君を許しているのかどうか？演技力があるが、脚本がわかりにくく残念だった。会話劇に絞ったのは悪くない作戦。テレビドラマならもっと説得力があった。王道展開は悪くない。／オープニングの水の音は何の音？BGMの音にもう少し気をつけたい。話の展開が少しわかりにくい。主人公の心の動きが伝わりにくい。場面の切替に工夫を。
	2	堺リベ	貴方の夢になる	3位	・メイとハヤテの声色をもっと変えられたら良かった。男女にわけてもよかったらいい。 ・ハヤテとメイの交流がもう少し描けていれば、メイへの共感もより深まった。	演技が上手だった。主人公がこのことで自分の夢を決めるだろうか？もう少し筋に工夫があるとよい。／ハヤテとメイのやり取りがよくわかった。ストーリーが良く出来ている。演技も上手い。／ラジオドラマならではの題材・ストーリー。家に連れて行くまでの流れがやや強引か。なぜメイには見えて母親には見えないのか、疑問が残る。音が綺麗。わざとらしい芝居よりも、もう少し自然な方が聞いている心地よい。／家に帰ったら、その子が最初にベルを鳴らすのでは？ハヤテ君がいないようにメイが振る舞っていることなど、微妙な違和感があった。車の音は、この子に会う前にも鳴らしていたら効果的。メイの決心が唐突。／はじめの場面はどのようなシチュエーション？このドラマで伝えたいメッセージは何だろう。メイとハヤテの関係性がわからなかった。なぜメイがハヤテの夢を追うのか、理由が弱い。
	3	池田	AIことば	1位	・高校生らしい会話のラリーが良い。 ・主人公アイコの演技が自然で好感が持てる。 ・「AI(=スマホ)」との付き合い方、という極めて現代的なテーマが深い。コミュニケーション特化型社会の闇が描かれている。	最近変わったところがわかりにくかった。AIをテーマにしているのは面白かった。丁寧に作品が作られている。良い作品。／AIの与える影響を考えさせるドラマ。「何も考えない」とても大きなセリフ。これからの時代、実際に起きそうなこと。／登場人物が多い？話を理解するのに戸惑った。タイトルと内容との関係がわかりにくかった。ラジオ向きの作品。／アイコの変化が声に出るとよい。AIによるアシスタントという着眼点は今風で面白い。全体に演技が不自然だが、伝えたいことはわかった。アドバイスがAIによるものである必然性がほしい（SNSで自分にとって心地の良い情報ばかり出てくる機能など）。／演技が上手い。人物の声がわかりやすい。ストーリーが面白い。話がわかりやすく、楽しめた。効果音、BGMの使い方が上手い。
	4	箕面自	夜空とタコス	2位	・情景描写が上手い。画が思い浮かぶ。 ・ストーリーもユニークで面白い。2人の続きが気になる。 ・テーマである「愛」を主人公がどのように受け止めたのか、もう少し伝えたい。 ・音声表現であるものの、外国人であるマルコの言いたいことは伝わった。工夫がなされていた。	外国人の演技は難しい。丁寧に作られていて、聞きやすかった。／警察とのやり取りにドキドキした。気の抜けない作品。タコスを通しての交流、アイデアが良かった。／原語の発音・アクセントが気になった。（LoveのL。シルヴィオの長音はルではなくシでは？）警察官役はもう少しリアリティを持たせて欲しい。ストーリーが面白かった。／ドラマとしては面白い。演技も良い。コンテスト作品としてはもう少しテーマをはっきりさせて欲しい。他のシーンを入れると説得力が増す。／演技が上手い。効果音や音の使い方がとても上手い。微笑ましいストーリーだった。

第72回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】 番組部門 審査結果及び講評

部門	順	校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
TV ドラマ	1	浪速	発掘！！ ー未来の チャンピオンー	入選	ドキュメント風に仕上げていますのはおもしろいです。再生音にノイズがのっています。演技もよかった。モキュメンタリーであることが序盤でもう少し分かりたかった。ただ、ディテールが非常に細かく設定されているのが感心した。独特の世界観があるのでこれからも大切にしてほしい。しばらくドキュメントなのと思ってしまい、ドラマとは感じませんでした。もっといろんな工夫ができると思います。ドキュメントのように見せる技法なのかもしれないけど、学校名を出しているところからはじまって違和感しかなかった。BGMなどをもっと入れないとドラマらしさも出てこない。ドキュメンタリー！？と思わせてからの奇想天外な設定で引き込まれました。鉛筆で書くテストを高校生の本分にとっては反対のイレギュラーという題材が面白かったです。これドラマ？何ともばからしくておもしろいですが…ドキュメンタリータッチにせず、普通にドラマで作ればよかったのに。	
	2	桃山	On the way	2位	タイムパフォーマンスを取り上げた作品ですね。演出、演技も細かいところに気をつけています。もうひと波乱あればよかったです。時間の概念に挑む意欲作だと思う。やや飛ばしすぎな印象はあるが、高校3年間の儚さが伝わってきてグッと来るものはあった。少し伝えたいことが分かりにくかったです。主人公の心変わりしたところがなぜなのかわかりにくかったです。「このドラマの時間だけの高校生活」という設定が腑に落ちないし、実際のリアルタイムでもないのでもよく分からない。先も読めるテーマは分かるので何か違った設定はなかったのかなあと。タイパ重視の世の中に対する問題提起がすばらしい。ドラマの時間が高校生活の時間というはじめの設定が素晴らしいアイデア。不思議な物語ですね。BGMの使い方がうまい。でも、たぶん言いたいことはよく伝わってきました。面白い発想・作品でした。	
	3	箕面自	俺が来た！	3位	カット割りがうまい。うまくまとめていて最後まで目が離せませんでした。前半ややゆるい感じがあったが、後半はドキドキさせられた。サスペンスの撮り方が上手い。ラストのアクションにもう少し工夫があればもっとよかった。話が突然展開したので少しわかりにくかった。不審者は誰？なぜ天井（笑）「不審者よ」と彼女に言ってほしい。不安の作り音作り上手いです。おもしろいです。一瞬入った「昔のヒーロー」？説明不足でない方がいいかも。せっかくのマイクケーブル、言われないと分からない。画と場面を絞りすぎて分かりにくくなった感じでおいしい。タイトルが面白い。最後マイクケーブルでお縄になっているのも面白い。映画研。映像やカメラワークは良いです。話の展開がよくわからないぞ！いったい何を伝えたかったのか？メッセージは？	
	4	履正社	ピザ事変	1位	よく演出できています。マスクをしているのが少し残念です。シナリオもいいです。設定の下りが聞き取りづらく分かりにくかった。見せ方の工夫があってよかった。設定は面白いのにもったいない。演者の切迫感がもう少し感じたかった。ピザを校内で受け取るだけの設定でしたが、面白かったです。ただ、もっといろんなことをしてもいいかなと思いました。斜体フォントはどうか。音が小さくて聞きにくいところあり。ピザが禁止というスタート設定が少しわかりにくいのでアイデアは面白い。8分のドラマでエンドロール不要。画がきれい。ハラハラさせる展開でした。最後含みを持たせることも面白い。何とかしてピザの宅配を学校で受け取ろうとする生徒たちの奮闘。生徒ならではの目線が面白かった。カメラワークとても良い。内容とても面白い！最後が注文したピザを見せてほしかった。	
	5	仰星	アンサンブル	入選	安心してみることができるドラマです。よくできています。よいテーマで、ストーリーもしっかりしているので演出・映像をもっと頑張ってもらいたかった。逆にそこが出来れば大いに伸びる可能性がある。ドラマらしいドラマでした。もう一工夫してもいいかなと思いました。やりたいことは良いけど演技をもう少し頑張ろう。カット割りとか肝心のところでバンドの音がないのは残念。セリフの読みがもったいない。(みな棒読み調)⇒最後のシーンが説得力がなくなる。伝えていくことはしっかり伝わってきました。ストーリーは分かりやすいですが…カメラワークや映像にもう少し工夫がほしいです。	